

# AJ

# 282

vol.

**AQUA JOURNAL**  
Nature Aquarium  
information magazine

APRIL.2019  
100YEN

【巻頭グラビア】

## NATURE IN THE GLASS

時の流れ／紅の調和

ADA Review

可憐で多彩な着生ランを楽しもう

ENJOY DOOA

基本は「自然から学ぶ」こと

MAKE & KEEP #16

「アクアクリーンAC」

みずくさFOCUS 第17回

「新形態」

ネオグラス エア スタイル #05

Plant Art Studio #17



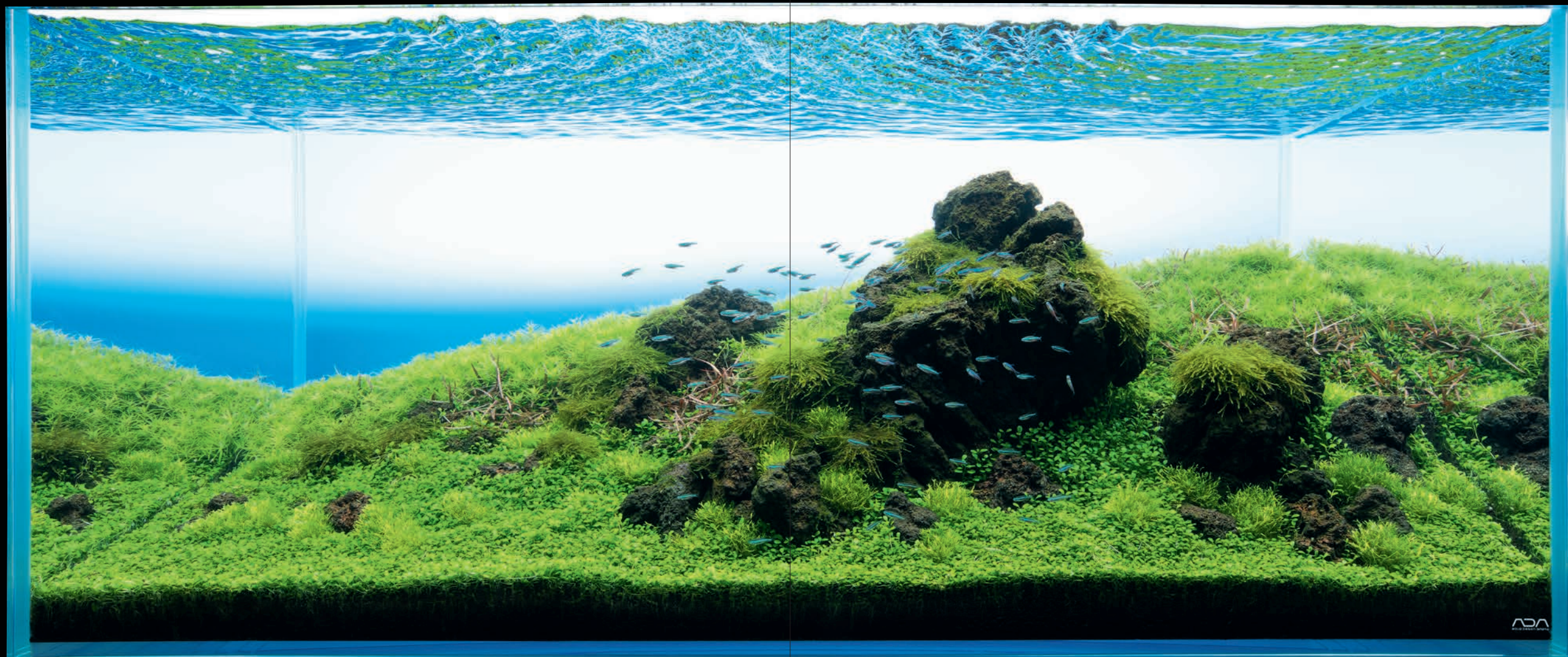
# NATURE IN THE GLASS

Tomohiro Isogawa

魚の群れと水草で風を表現  
岩が崩れた景観に  
時の流れを重ねた水景

【時の流れ】新潟県の長い海岸線では、松林や浜、砂丘、岩礁など、さまざまな景色の変化が楽しめる。この水景は、角田山の麓にある小浜の風景をもとに制作した。小浜は海風が強く吹きつける場所で、このレイアウトには風の表現が欠かせなかったのだが、これを水中で表現するのは難しい。そこでグリーン・ネオンの群れ泳ぐ様子で目に見えない風を可視化し、風になびく草むらを水草で表現した。水景全体としては、溶岩石で起伏をつくり、盛土で緩やかなスロープをつくっている。風や水によって岩が崩れたような景観に時の流れを重ねた。

©AQUA DESIGN AMANO



## DATA

撮影日 2019年1月18日 (ADA)  
制作 五十川 朋弘 (レイアウト制作・文)  
水槽 キューブガーデン W120×D50×H50 (cm)  
照明 ソーラーRGB×2基 1日9時間点灯  
ろ過 スーパージェットフィルターES-1200 (バイオリオM)  
底床 アクアソイル-アマゾニア、アクアソイル-アマゾニアⅡ、  
パワーサンド・アドバンスM、バクター100、クリアスーパ、トルマリンBC

CO<sub>2</sub> バレングラス・ビートル400、CO<sub>2</sub>ビートルカウンターで1秒に5滴 (タワー使用)  
AIR リリイバイブP-6 130によるエアレーション 夜間消灯時15時間  
添加剤 ブライティK、グリーンブライティ・ミネラル、グリーンブライティ・ニトロ  
換水 1週間に2度 1/3  
水質 水温25℃ pH:6.6 TH:50mg/L

水草 グロツソステイグマ  
アラグアイア・レッドシャープリーフ・ハイグロ  
ベトナムゴマノハグサ  
リシア  
ウィローモス

*Glossostigma elatinooides*  
*Hygrophila* sp. "from Araguaia Red Sharp Leaf form"  
*Scrophulariaceae* sp.  
*Riccia fluitans*  
*Fontinalis antipyretica*

魚種 グリーン・ネオン  
サイアミーズ・フライングフォックス  
オトシソックス  
ヤマトヌマエビ

*Paracheirodon simulans*  
*Crossocheilus oblongus*  
*Otocinclus* sp.  
*Caridina multidentata*





## 溶岩石の強い陰影と 水草の配植で 荒地の景観を再現

ネイチャーアクアリウムは“自然”をイメージしてつくられますが、その“自然”は具体的な自然景観である場合と、さまざまな自然景観からエッセンスを抽出して再構成した抽象的な“自然”である場合があります。このレイアウトは前者であり、左に掲載したような新瀨の景観をイメージして制作されました。構図としては、荒々しい印象の溶岩石と盛土で斜面に広がる荒地を表現し、石の強い陰影と小さな石の配置で風化して崩れた岩を表現しています。また、このレイアウトの配植は、すべて「BIOMIZUKUSAの森」のラインアップで構成されています。メンテナンスが簡単で育成しやすい丈夫な水草なので、これから始めたいという初心者の方にもオススメです。

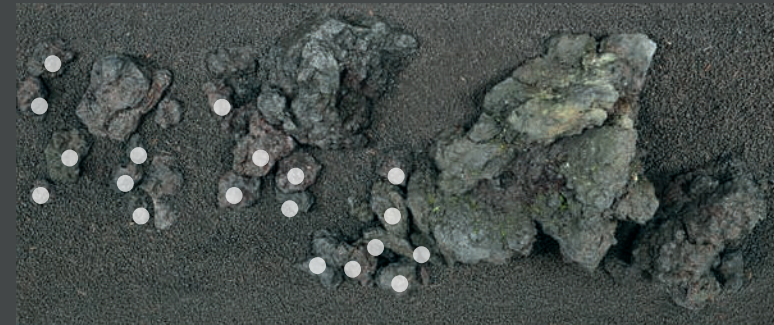
小浜から角田山へと続く斜面には、草むらの中に岩が点在する荒地のような景観が広がる。  
撮影地：越後七浦海岸・小浜(新潟県) 撮影：天野 尚

活着性の強いウイローモスを小石に巻いて溶岩石のくぼみに配置。苔類は一般に栄養素をあまり多く必要としないイメージだが、グリーンブライティ・ニトロを添加するときれいに育つ。なお、モスはヤマトヌメエビやサイアミーズ・フライングフォックスの食害にあいやすいので、兆候が見られたら数を調整する必要がある。



1

### 石の配置



前面

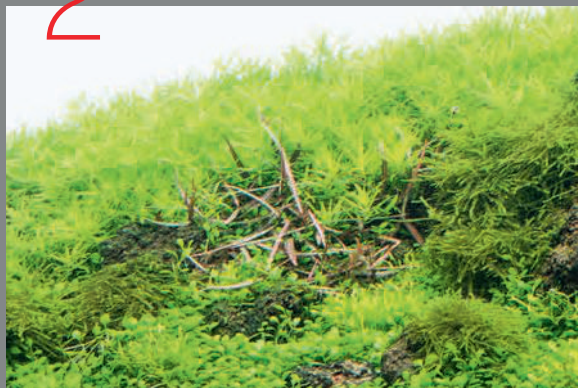
この水景は越後七浦海岸の小浜の景観をイメージした。海風が強い場所なので、崩れた石のイメージで小さい石(●)を大きい石の左に配置し、一定方向から吹く風を表現。

### 植栽



荒地を覆う草むらのイメージで背の低い水草をセレクト。場所によって葉の形や色を使い分け、植栽に変化をつけた。  
2018年11月15日 撮影

2



グロッツスティグマとベトナムゴマノハグサの間に、アラグアイア・レッドシャープリーフ・ハイグロを植栽。緑の中に垣間見える赤い個性的な葉が、水景のよいアクセントとなっている。この水草は生長が遅いため、トリミングを行わずに緩やかな生長を促した。

3



リニアは丈夫で生長が早いので2週間に一度のペースで軽いトリミングを行った。グロッツスティグマは、水槽前面は短めに石の周辺は長めにして密度を出している。

### 完成



©AQUA DESIGN AMANO





水草と魚、そして肉眼では見えない微生物が調和した水槽こそネイチャーアクアリウムの発想の原点。水草が健康に育ち、魚たちが元気に泳ぐ美しい水景は、その調和がとれていることを物語っている。



緑と赤の色の対比によって  
生命感あふれる水草と  
魚との調和を表現した水景

【紅の調和】このレイアウトは色の対比による水草と魚の調和をコンセプトとしている。構図は流木を放射状に組んだ三角構図としそこにシダ類を配置した。背景には赤系の有茎草をメインに植栽することで、シダ類の濃い緑との補色効果によって水草の生命感を強調。さらに赤系の魚を泳がせることで、水草と魚が調和した水景となった。

©AQUA DESIGN AMANO



DATA

撮影日 2018年11月22日 (ADA)  
制作 内田 成 (レイアウト制作・文)  
水槽 キューブガーデン W120×D50×H50 (cm)  
照明 ソーラーRGB×2基 1日10時間点灯  
ろ過 スーパージェットフィルターES-1200 (バイオリオム)  
底床 アクアソイルアマゾン、アクアソイルアマゾンII (表面5cm)、  
パワーサンド・アドバンスM、バクター100、クリアスーバー、トルマリンBC  
CO<sub>2</sub> バレンガラス・ビートル500、CO<sub>2</sub>ビートルカウンターで1秒に4滴 (タワー使用)

AIR リリイパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時14時間  
添加剤 プライティK、グリーンプライティ・ミネラル、グリーンプライティ・アイアン、  
グリーンプライティ・ニトロ、ECA  
換水 1週間に1度 1/3  
水質 水温25°C pH:6.8 TH:20mg/L

水草 ルドウィジア・グランテュローサ  
ニードルリーフ・ルドウィジア  
アポノゲトン・リギティフォルニス  
ポゴステモン・ダッセン  
タイガー・パリスネリア  
ハイグロフィラ・ポリスベルマ  
ハイグロフィラ・ピンナティフィダ  
ミクロソラム・トラIDENT  
ボルビティス・ヒュテロツティ  
ショート・ヘアーグラス  
*Ludwigia glandulosa*  
*Ludwigia arcuata*  
*Aponogeton rigidifolius*  
*Pogostemon* sp. "Dassen"  
*Vallisneria neotropicalis*  
*Hygrophila polysperma*  
*Hygrophila pinnatifida*  
*Microsorium* sp. "Trident"  
*Bolbitis heudelotii*  
*Eleocharis parvula*

魚種 ヘアーグラス  
エキノドルス・テネルス  
ウイローモス  
ダイヤモンド・テトラ  
レッド・テトラ  
インバクティス・ケリー  
サイアミーズ・フライングフォックス  
オトシンクルス  
ヤマトヌマエビ

*Eleocharis acicularis*  
*Helanthium tenellus*  
*Fontinalis antipyretica*  
*Moenkhausia pittieri*  
*Hyphessobrycon amandae*  
*Inpaichthys kerri*  
*Crossocheilus oblongus*  
*Otocinclus* sp.  
*Caridina multidentata*



## 複数のホーンウッドを 組み合わせて 一本の流木に見せる工夫

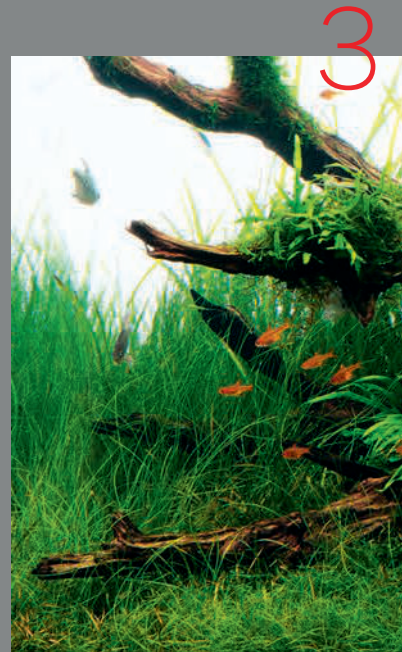
ネイチャーアクアリウムでは流木や石などのレイアウト素材を用いて構図の骨格をつくりませんが、120cm水槽クラスの大型水槽になるとレイアウト素材もそれなりに大きなものが必要になります。このレイアウトで使用しているホーンウッドの場合、一本で120cm水槽の主役とするには、大きさはもちろん、よほど形の良いものに出会わなければ難しいと言えます。そこで、ここでは中サイズのホーンウッドを数本放射状に組み、根元の部分でそれらが重なり合い、一本の太い流木に見えるように工夫しました。同様の工夫は石でも行いますが、石でも流木でも同じ種類から選ぶことはもちろん、印象や質感をそろえることがポイントです。



赤系有茎草の鮮やかな発色がこのレイアウトのキモになるため、基本の液体栄養素(ブライテイク、グリーンブライティ・アイアン)だけでなくECAやグリーンブライティ・ニトロも必要に応じて添加し、赤の発色を維持した。



シダ類は新しい水を好む傾向にあるため、換水は一般的な頻度より多く行い、換水後にフィトンキットを添加することで新芽の展開を促した。シダ類では印象が暗くなりそうな部分にはハイグロフィラ・ピンナティフィダを配置。



底床の近くに配置した流木が完全に隠れないように、下草のヘアークラスは流木が見え隠れする絶妙な密度で維持。後方の流木をやや隠れ気味にすることで、遠近感を強調した。



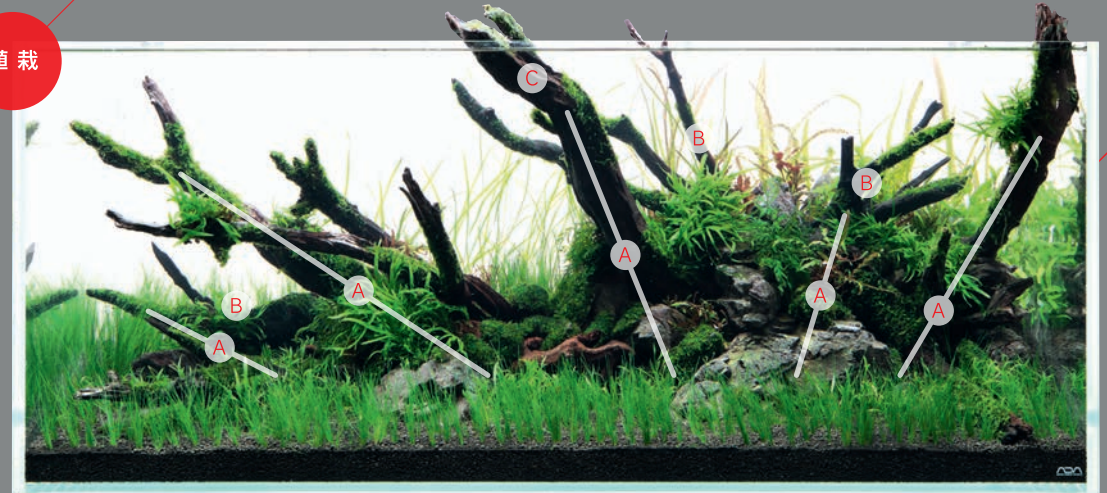
ショート・ヘアークラスの中にエキノドルス・テネルスを混載することで前景の緑の中に赤みが混じる。これにより植物同士のせめぎ合いが表現され、より自然な雰囲気となる。

## レイアウトに水の流れと立体感を表現する ホーンウッド配置のポイント

**A** メインとなるホーンウッドは、右から左にかけて傾きを大きくした扇状に配置。これにより、水槽の右奥から左手前に向かう水の流れを表現している。これらの流木は、やや手前側に傾けることでレイアウトに迫力を出している。

**B** 水槽の奥側には手前に配置したものよりも細めのホーンウッドを配置。これによりレイアウトに強弱のリズムが生まれ、水槽内の構図をより立体的に見せることができる。これらの流木も傾け方によって水の流れを表現している。

### 植栽



**C** 木肌の質感を残すためにウィローモスの活着させる部分はあえて限定的にした。ボリュームが出る前にトリミングを行い、モスが膨らみすぎないようにプロシザース・スプリング カーブタイプで流木のラインに沿ってカットした。

背景には赤系有茎草だけでなくテープ状の水草も植栽。赤の印象だけが強くなりすぎることを防ぎ、水景に一体感が出る。  
2018年6月15日 撮影



### 完成

©AQUA DESIGN AMANO



DOOAで提唱している壁面スタイルのレイアウトや新製品のテラベースでは、さまざまな着生植物が楽しめます。中でも小型の着生ランは可憐で美しい花を咲かせるため、観賞価値も高く景観的にも変化を与え多彩な魅力を秘めています。この春発売となるのは、アクアテラリウムやテラベースなどでつくられる環境で育成しやすい比較的水を好む小型着生ランの入門種8種類を予定。これらの小型着生ランを導入することによって、水草だけのレイアウトではあまり楽しむ機会が少なかった開花の楽しみが加わるだけではなく、熱帯ジャングルの雰囲気も高まります。これら小型着生ランの育成のポイントは、乾湿のメリハリと適度な風(通気性)であり、壁面スタイルのレイアウトでは霧吹きやミストフローなどによる水分調整、ガラスフタをした水槽内での育成には小型ファンなどの利用で微風をつくる工夫が有効です。また佗び草マットや今後発売予定となっているテラベースと同様の素材でできているテラプレートは、小型着生ランの育成にも適しているためその楽しみ方はさらに広がります。



小型着生ランの仲間と試作例

[DATA]

- ① マキシラリア sp.  
Maxillaria sp.
- ② メディオカルカ・デコラタム (バリエータ)  
Mediocalcar decoratum variegata
- ③ セロジネ・フィンブリアータ  
Coelogyne fimbriata
- ④ エピデンドラム・ポーバックス  
Epidendrum porpax
- ⑤ セラトステリス・フィリピネンシス  
Ceratostylis philipinensis
- ⑥ ディネマ・ポリブルボン  
Dinema polybulbon
- ⑦ バルボフィラム・アンブロシア (佗び草マット)  
Bulbophyllum ambrosia
- ⑧ バルボフィラム・ポリクロスム (佗び草マット)  
Bulbophyllum polliculosum
- ⑨ セロジネ・ユニフローラ (佗び草マット)  
Coelogyne uniflora
- ⑩ デンドロビウム・カスパードソニー (テラプレート)  
Dendrobium cuthbertsonii
- ⑪ バルボフィラム・レツシウスクラム (テラプレート)  
Bulbophyllum retusiusculum

話題となったテラベースの作例。テラベースは今回のとうほく蘭展2019に合わせて開発され、小型着生ランの新しい楽しみ方を提案しました。



# EPIPHYTIC ORCHIDS

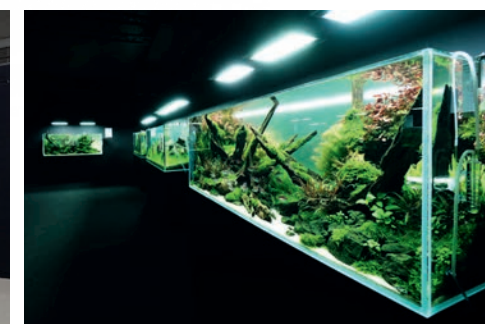
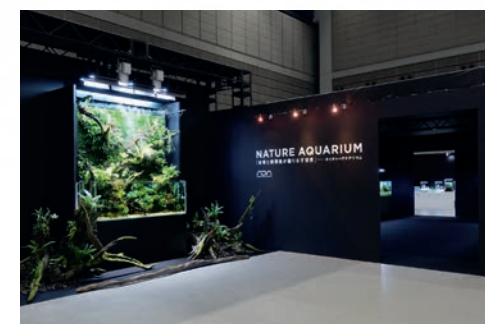
## 「可憐で多彩な着生ランを楽しもう」

この春、テラベースの発売をきっかけにADAの生体製品に小型着生ランのシリーズが加わります。最初はポット入りでの提供となりますが、将来的にはオリジナリティ高い形態での提供を予定していますのでご期待ください。

とうほく蘭展2019に展示

左：着生ランを取り入れたネイチャー水草ウォールを展示。その両サイドには苔むした流木なども配置し着生植物の魅力と自然感を表現しました。

右：ネイチャーアクアリウムでは、多種多様な水草からなる水中の世界を紹介。水槽の中には小さな生態系が再現されています。



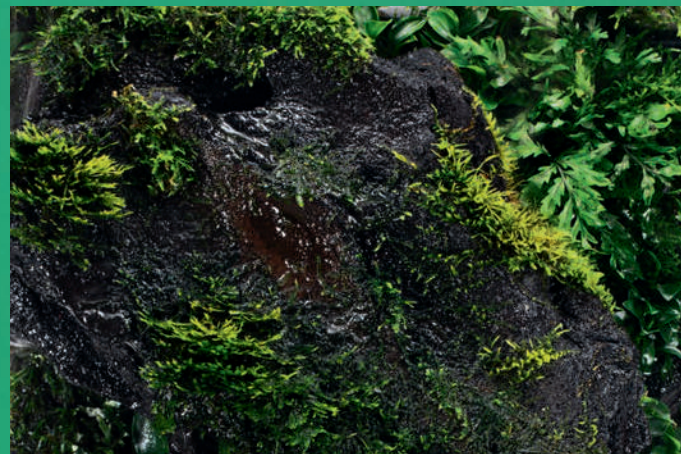


# Enjoy DOOA

Yusuke Homma

## 山水石を大胆に用い 水の滴り落ちる 自然の岩肌を再現

システムテラ 30は、上部のカスケード部から水が壁面を流れる構造に特徴がある。この構造によって、佗び草マットを使用して壁面でモスや水草を育成できるのはもちろん、モスを用いてカスケード部から水を引き込むことで、流木や石の表面でもモスや水草を乾燥させることなく育成できる。これまでは流木を用いた作例が多かったが、今回は石だけを用いた作例を紹介しよう。山水石は表面がざらついているため水が伝いやすく、石全体に水が行き渡りやすい。ここでは、そんな山水石を大胆に用いることで、自然の岩肌を原寸大で表現することを目指した。壁面にはソダやアヌビアスを配置し、前にせり出した石との対比でレイアウトに奥行きを出している。



### 石の表情をいかした表現

山水石のくぼみを水滴がつくった岩のたまりに見立てて時間の経過を演出。石の表情を見て、そこから遊び心を持ってイメージを膨らませた。石の突出した部分にモスを重点的に活着させることでメリハリをつけている。



### ミストフローによる霧の効果

「BIO みずくさの森」のボルビティスやアヌビアス・ナナ プチは、湿度が高いカップ内で育成されているため乾燥に弱い。ミストフローによる霧は演出効果だけではなく、水草の乾燥を防ぎ、状態良く維持する効果がある。

### 【SYSTEM DATA】

- ソルスタンドG
- ソルスタンドG水槽固定パーツ
- システムテラ 30 W30×D30×H40 (cm)
- ミストフロー
- システムテラ 30用 ガラスフタ
- キューブガーデン 専用フック 5mm用 4個
- ベーススタンド35
- CO2システムキット
- CO2ミニカウンター
- CO2ミニディフューザーJ Ø10
- NAサーモメーターJ-05WH (5mm厚用)
- NAコントロールタイマーII
- トロピカルリバーサンド
- 佗び草ミスト

### 【水草】

BIO ボルビティス・ヒュテロツティ  
BIO アヌビアス・ナナ プチ  
ピーコックモス  
ウィローモス

### 【魚種】

ゼブラダニオ  
ヤマトヌマエビ  
オトシクルス  
サイアミース・フライングフォックス

2019年1月17日 撮影(ADA)  
レイアウト制作・文 本間 裕介  
©AQUA DESIGN AMANO

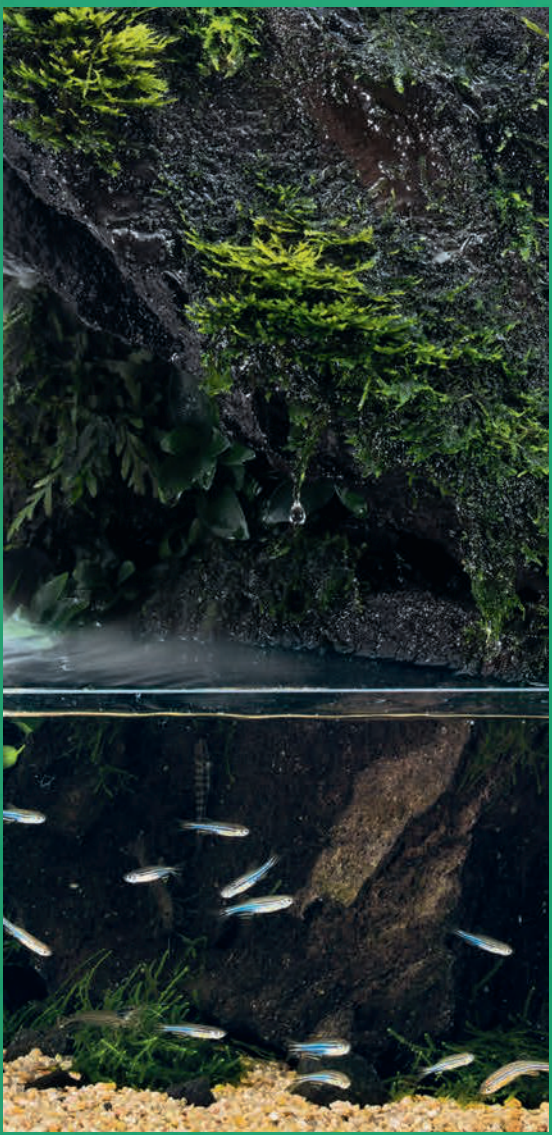


DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic life more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants in a feel closer to nature, and bring beauty into your





水の流れを考えたモスによる水の引き込み  
使用する石の全体的な形状や表面の凹凸を見て水の流れを考える。今回は2カ所から水を引き込み、矢印で示したような水の流れを想定した。カスケード部から水を引き込む場所には、水が伝いやすいウィローモスを使用。



制作時のイメージは、以前訪れた栃木県の滝で見た風景。岩肌をいく筋も流れる水の線がとても美しかった。  
撮影地：スッカン沢(栃木県) 撮影：本間 裕介

モスの付き方による自然感の表現  
自然の岩肌では、水が多く流れる場所は苔がはがれやすいためあまり見られず、多く流れない場所に苔がたくさん活着している。モスの付き方を調節することで自然感を表現した。

ネイチャーアクアリウムも  
アクアテラリウムも  
基本は「自然から学ぶ」こと

ネイチャーアクアリウムの基本的な姿勢として、「自然から学ぶ」ということがあります。創始者である天野 尚は、レイアウトを制作するだけでなく、時間があれば自然の中に身を置き、風景写真を撮影することで自然の情報をインプットしていました。今回のアクアテラリウムもその姿勢にならい、自然から学んだ表現がなされています。切り立った岩肌を流れる水、そこに着生した苔類や植物。自然の中で観察すると、水の流れと苔類や植物が着生しやすい場所の関連性が見えてくるのです。





# MAKE & KEEP 16 AQUA CLEAN AC

アクアクリンAC

アクアクリンACは、水槽で発生する水の黄ばみや汚れを効果的に取り除く吸着材です。今回は、水槽セット初期におけるアクアクリンACの効果を紹介しましょう。

## アクアクリンACの比較実験

今回の比較実験では、30cm水槽にアクアソイル-アマゾニアの底床を敷き、水草は佗び草の有茎草MIXとグロッソスティグマを配置。アクアクリンACの有無による水の着色と水質を比較しました。(※1週間に1回1/3換水、アクアクリンACは2週間で交換。)

アクアクリンACなし

アマゾニアには有機成分や窒素成分が多量に含まれ、水槽セット初期には水の黄ばみや濁りが発生しやすい。これは換水や水草の生長によって改善していくが、25日目段階ではまだ着色が残っている。



※水草のトリミングを行った。

アクアクリンACあり

アマゾニアによる水の黄ばみと濁りが除去され、透明度が高い状態が続いている。リン酸と硝酸が吸着されるため、2週間目以降は藻類も発生しにくくなった。その結果、水草がきれいに生長している。



※水草のトリミングを行った。

## 水の着色と水質を改善するアクアクリンAC

アクアクリンACは、高性能の活性炭と活性アルミナを組み合わせた吸着材です。アクアクリンACのバックをろ過槽に入れるだけで、水の着色や有機物による汚れ、リン酸(PO<sub>4</sub>)、硝酸(NO<sub>3</sub>)を効果的に取り除くことができます。これにより、アマゾニアを使用した水槽で発生しやすい水の黄ばみや濁りを改善し、藻類の発生も抑えることができます。上に掲載している比較実験の写真からアクアクリンACの有無によって

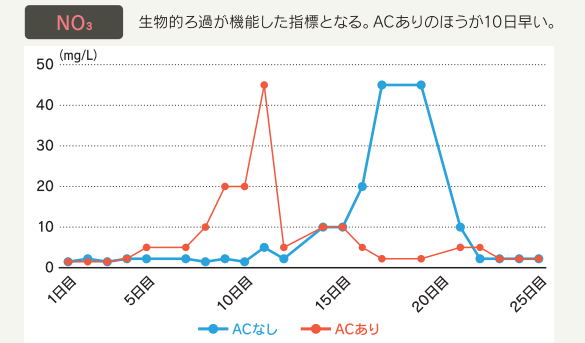
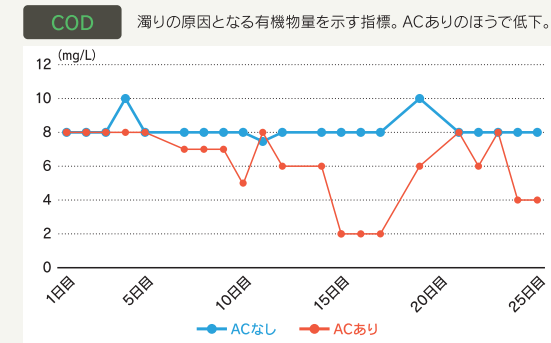
水の透明度や水草の生長が大きく違うことがわかりますが、右ページに掲載した水質の測定結果からもその効果がわかります。水中の有機物量を示すCODは、アクアクリンACありのほうが大きく低下しています。また、NO<sub>3</sub>の上昇とその後の急激な低下は生物学的過で重要な役割を果たす硝化細菌の増殖を示しますが、今回の実験ではアクアクリンACありのほうが10日ほど早く生物学的過が機能するようになったのです。

## パック入りでセットや交換も簡単

今回の比較実験ではアクアクリンACをスーパージェットフィルターES-150にセットして使用。アクアクリンACはパック入りでセットや交換も簡単です。吸着材のため限界まで吸着したら交換が必要。水が汚れやすい水槽セット初期は、約2週間が交換の目安です。



アクアクリンACはシステムアクア30やシステムテラ 30に最適な交換式の吸着材パック。スーパージェットフィルターなどでも使用できる。(1箱2パック入り)





# みずくさ

# FOCUS

第17回 文・佐藤 正浩

## 「新形態」

藻類やスネールの混入がなく、また農薬を使ってないため購入後すぐ使え、安心・安全なBIOみずくさの森。ますます需用が高まっている人気製品ですが、水草に付いている培地を取り除くのが手間だなと感じている人も多いのではないのでしょうか。そのような手間を無くすべく取り組んでいる研究を今回は紹介します。



**組** 織培養は固形培地を使って培養するのが一般的ですが、みずくさの場合植栽する時にその培地を取り除くのが煩わしいというのがデメリットでした。かといって液体の培地で水草を培養しようとしても、水草の伸び方が安定しなかったり、輸送時に水草がゆられてしまったりと問題がありました。研究を重ねて、液体の培地

でも水草がカップの底面にしっかりと根を張った状態で培養することができるようになりました。カップを返しても水草がひっくり返ることはありませんし、輸送時に水草がゆられることもありません。最初は下草から研究を始めましたが、現在有茎草、クリプトコリネで良い結果が出てきています。



根の張りもしっかりしていて品質も問題ありません。



下が液体培地のショート・ヘアグラス。より分けた後の水草に培地が残りません。



培地を取り除く必要がなくそのまま植栽できます。

現在下草系から製品化すべく実験を行っています。今春からリリースを予定していますので、ぜひご期待ください。

# NEOGLASS

# AIR

ネオグラス  
エア  
スタイル

# STYLE #5

## エキノドルスの美種を身近に

Text\_Kota Iwahori

エキノドルスは南米原産のオモダカ科の植物で、ホビーにおける水草の歴史では古く、原種・改良品種ともにこれほどまでに世界中で愛されている水草はないでしょう。その中でも、ホレマニー種（学術上はウルグアイエンシスのバリエーション）は水中葉の姿がとても美しく、ゆらゆらと伸びる深緑葉には透明感と独特な葉脈を持ち、優雅なエキノドルスです。比較的育てやすいエキノドルスなのですが、目にする機会が少ないのが残念です。ここでは、深緑を際立たせるために、明るい色のトロピカルリバーサンドを使用しています。トロピカルリバーサンドは養分を含まないため、ボトムプラスを使用します。植栽後1～2週間ほど経ち、根が展開してきたタイミングで、ボトムプラス1本を3つに折り、株から3cmほど離れた3カ所に深く埋めます。その後は、生長具合に応じて追肥の本数や場所を決めます。CO<sub>2</sub>の添加がなくとも生長します。大きさのコントロールがしやすく、施肥のバランスと底床を深くしないことで大型にはならず、ネオグラス エアにぴったりと納まります。

DATA  
ネオグラス エア W15×D15×H30(cm)  
ネオグラス エア 専用ガラスフタ 15×15(cm)

[底床]  
トロピカルリバーサンド

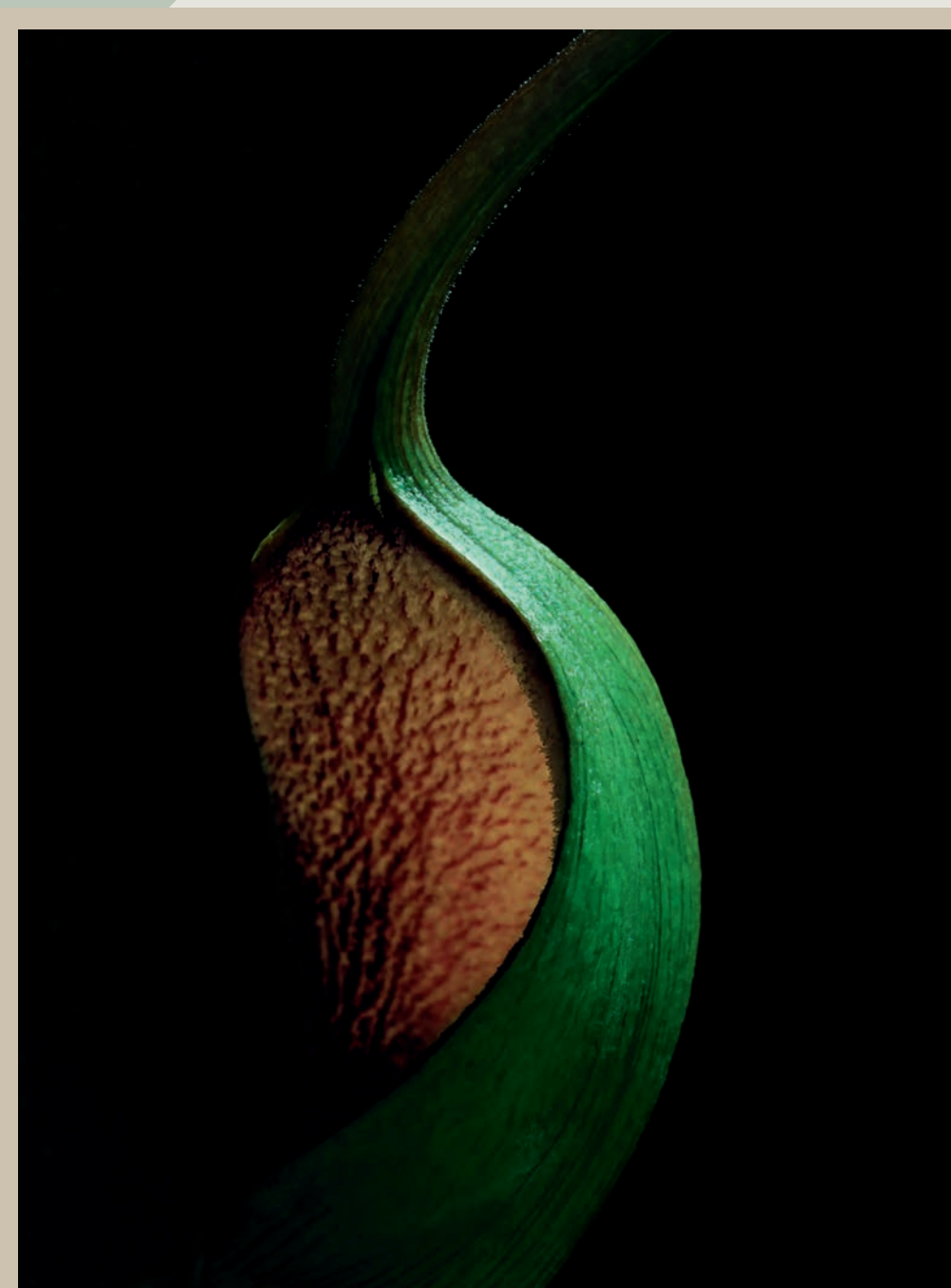
[植物]  
エキノドルス・ホレマニー・グリーン・レッドエッジ  
制作 / 岩堀 康太





# PLANT ART STUDIO

プラント アート スタジオ



美しいラインに象られた仏炎苞。苞の中にある花に虫たちは引き寄せられ、その美しい姿に私も引き寄せられた。

Photo & Text / 本間 裕介

Lagenandra sp. 'silver'

17

INFORMATION

## RENEWAL OPEN 03.31.2019



### 新作レイアウト、7人の水景クリエイターが鋭意制作中! NATURE AQUARIUM GALLERY

ネイチャーアクアリウム・ギャラリーでは、現在、3月31日(予定)のリニューアルオープンに向けて7人の水景クリエイターが新作レイアウトを鋭意制作中です。それぞれの感性でつくりあげた新しい水景にご期待ください。水草と自然を愛する皆様のご来館をお待ちしています。ネイチャーアクアリウム・ギャラリーの最新情報はADAホームページでご確認ください。

## MOSS-BAG

Taxiphyllum barbieri ウィローモス

モスバッグは水景に自然感を演出する上で欠かせないウィローモスをパックにした新しい生体製品です。水中で育てた健康なウィローモスをパックしているため、すぐに流木などに巻きつけて使用することができます。水草レイアウトやメダカなどの飼育に幅広くご利用ください。

袋外寸: W130×H210 (mm)  
モスバッグ ウィローモス: オープン価格



流木  
レイアウト  
にも

モスの  
使い方は  
自由



DOOA  
テラベース  
にも

#### STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.  
©2019 Printed in JAPAN

Publisher  
天野 しのぶ

Editor  
大岩 剛 / 阿部 正敏 / 本間 裕介 / 佐藤 正浩 / 岩堀 康太

Art Direction  
NATURE AD DESIGN

Design  
丸山 悟司 / 市川 亮 / 板橋 広夢

Published by  
株式会社 アクアデザインアマノ

Printed by  
株式会社山田写真製版所 <http://www.adana.co.jp>

NEXT AQUA JOURNAL

MAY.2019 vol.283 / 2019年4月10日(水)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。





DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

新しい着生植物の楽しみ方

# TERRA BASE

テラベース

苔やランなどの着生植物に覆われた熱帯雨林のイメージを楽しむ。

DOOA テラベースは、熱帯雨林の樹木に着生する苔やラン、小型ランなどを手軽に楽しむためのニューアイテムです。水が適度に染み出す素焼きの陶製で、着生植物に水分を供給することはもちろん、気化熱により温度上昇を抑える効果もあります（特許出願中）。新サイズのネオグラス エアでお楽しみください。



DOOA テラベース  
希望小売価格 ¥2,700（税別）

